

-小ネタ-

遺伝子とアルツハイマー痴呆

アルデヒド脱水素酵素とアポリポタンパク質を例として

令和元年 熱海合宿 松嶋

アルツハイマー病

- β アミロイドタンパク質が脳の細胞に蓄積して引き起こされると考えられる
- 様々な因子が関連していると考えられる
 - たとえば、「頑固な」性格

アルデヒド脱水素酵素とアポリポタンパク質

- アルデヒド脱水素酵素 ALDH2
 - アルコールの代謝に関する酵素
 - この遺伝子に変異があるとお酒に悪酔いし易い
 - アルコール依存症の危険因子（上の逆）
- アポリポタンパク質E APOE
 - コレステロールの運搬に関係する
 - 善玉コレステロール、VLDLの成分
 - この遺伝子の2型の変異は、家族性脂質異常症を起こす（高LDL）

ALDH2とAPOEとアルツハイマー

- ① ALDH2の低活性型 1.6倍のリスク要因
- ② APOEの4型変異 3倍（～11倍）のリスク要因
 - ・ 女性の場合はさらに関連する可能性あり
- ③ 両方（ホモで）持っている場合 30倍（日本医科大加齢科学細胞生物部門）

①タンパク質のアルデヒド化を防止する作用か？ 保険の加入に影響があるレベル。かつて、高校の実験がこの理由で中止になった

②かなり問題。ちなみに2型ならリスクは4割軽減

③確実になるというレベル（ポリティカルコレクトでよくHPに乗せられるなというレベル
将来は、入社前の健康診断で「あなた、ボケます」判定をされる

ちなみに、測ってもらえます

- ALDH2

- EBS パーセリーズ・インターナショナル 1件 5,700円

- APOE

- さくら病院外来 (092-864-1212) 1件 18,070円